

株主・投資家の皆様へ

第30期 中間期

2014年4月1日 ▶ 2014年9月30日

トランスコスモス通信

トランスコスモスは1966年の創業以来、優れた「人」と最新の「技術力」を融合し、より価値の高いサービスを提供することで、お客様企業の競争力強化に努めてまいりました。現在では、お客様企業のコスト削減と売上拡大を支援するビジネスプロセスアウトソーシングサービスを、アジアを中心に世界16カ国・119の拠点で、オペレーショナル・エクセレンスを追求し、提供しています。さらに、世界規模でのEC市場の拡大にあわせ、お客様企業の優良な商品・サービスを世界39カ国の消費者にお届けするグローバルECワンストップサービスを提供しています。

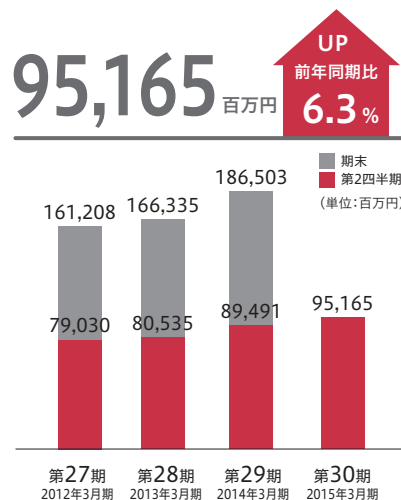
トランスコスモスは高品質なBPOサービスを世界規模で提供する、お客様企業の「Global BPO Partner」を目指しています。

トップメッセージ

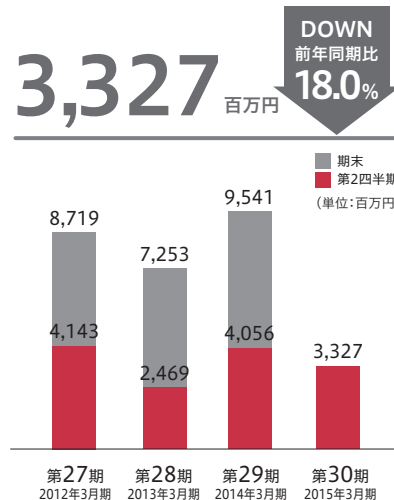
株主・投資家の皆様には、
平素より格別のご支援を賜り、
厚く御礼申し上げます。

ここに株主・投資家の皆様へのご挨拶と、
2015年3月期第2四半期
(2014年4月1日～2014年9月30日)の
業績に関するご報告をいたします。

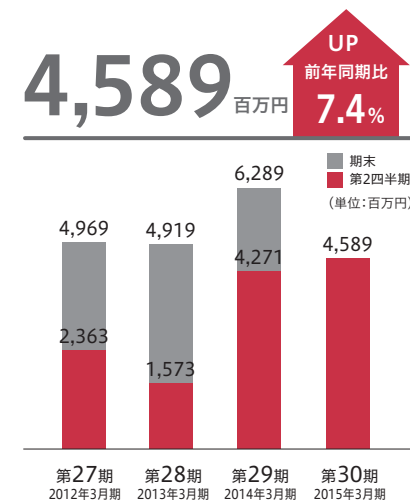
● 連結売上高



● 連結営業利益



● 連結第2四半期純利益



当期の決算の概要について

当社グループの関連する情報サービス業界では、引き続きコスト競争力強化、業務効率化といった企業ニーズを背景に、BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）サービスの需要が拡大傾向にあります。また、スマートフォンやタブレット端末の普及・進化に伴い、企業のEC（電子商取引）ビジ

ネス展開が加速しており、こうした動きに伴うサービス需要が顕在化してきております。

このような状況の下、当社グループは、それぞれ企業ニーズに対応したBPOサービスの展開に注力し受注の増加につなげました。一方、さらなる成長に向けた取り組みとして、グローバルでのBPOサービス需要に対応すべくASEAN地域を中心としたグローバル展開の推進と、ECワンストップサービス体制の強化に努めました。

当期の取り組みについて

具体的には、本年7月にベトナムに初進出し、海外で69拠点目となるオペレーションセンターを新設、さらに本年9月には、70拠点目となるオペレーションセンターをフィリピンにも新設し、それぞれローカル市場向けサービス、日本市場向けオフショアサービスの拠点として営業を開始しました。またタイでは、

用語解説

- ① ECストアフロントシステム→ストアフロントとは「店頭」という意味で、ECストアフロントシステムとは、インターネット上で商品やサービスを販売するECサイトのインターフェースまたはシステム全般を指す ② オムニチャネル→オムニ(Omni)とは「あらゆる、すべての」という意味で、実店舗やイベント、通販、カタログ、オンラインストアなどあらゆる販売・流通チャネルを統合し、どのようなチャネルからでも同じ商品・サービスが購入できる環境・仕組みなどの概念を指す ③ ネット炎上→なんらかの不祥事や不満などをきっかけに企業サイトや個人ブログ、インターネット掲示板などに誹謗中傷や批判的な書き込みなどが殺到するような事態または状況を指す

トップメッセージ／トピックス



既存の日本国内向けオフショアサービスに加えて、新たに現地の大手財閥サハグループと資本・業務提携に合意し、タイ国内向けBPOサービスの展開にも着手しております。一方、ECワンストップサービスでは、飛躍的に成長している中国EC市場での体制を強化すべく、中国ECソリューションベンダーで、ECストアフロントシステム^①の導入実績では中国トップクラスのシェアを持つ「商派軟件有限公司」(Shopex)との資本・業務提携に合意しました。

今後の取り組みについて

引き続き、お客様企業の売上拡大・コスト削減といったニーズに対し、より適合したサービスの創出に注力するとともに、中国、韓国をはじめとしたアジア市場や欧米市場での事業展開を加速させ、前期実績を上回る業績を確保することを目指します。また、今後も高い成長が見込まれるASEAN市場において、お客様企業のEC事業を支援するグローバルECワンストップサービスの展開を強化していきます。

株主の皆様へのメッセージ

当期の配当金につきましては、現時点では未定としておりますが、具体的な配当金額が決定した時点で速やかに公表いたします。

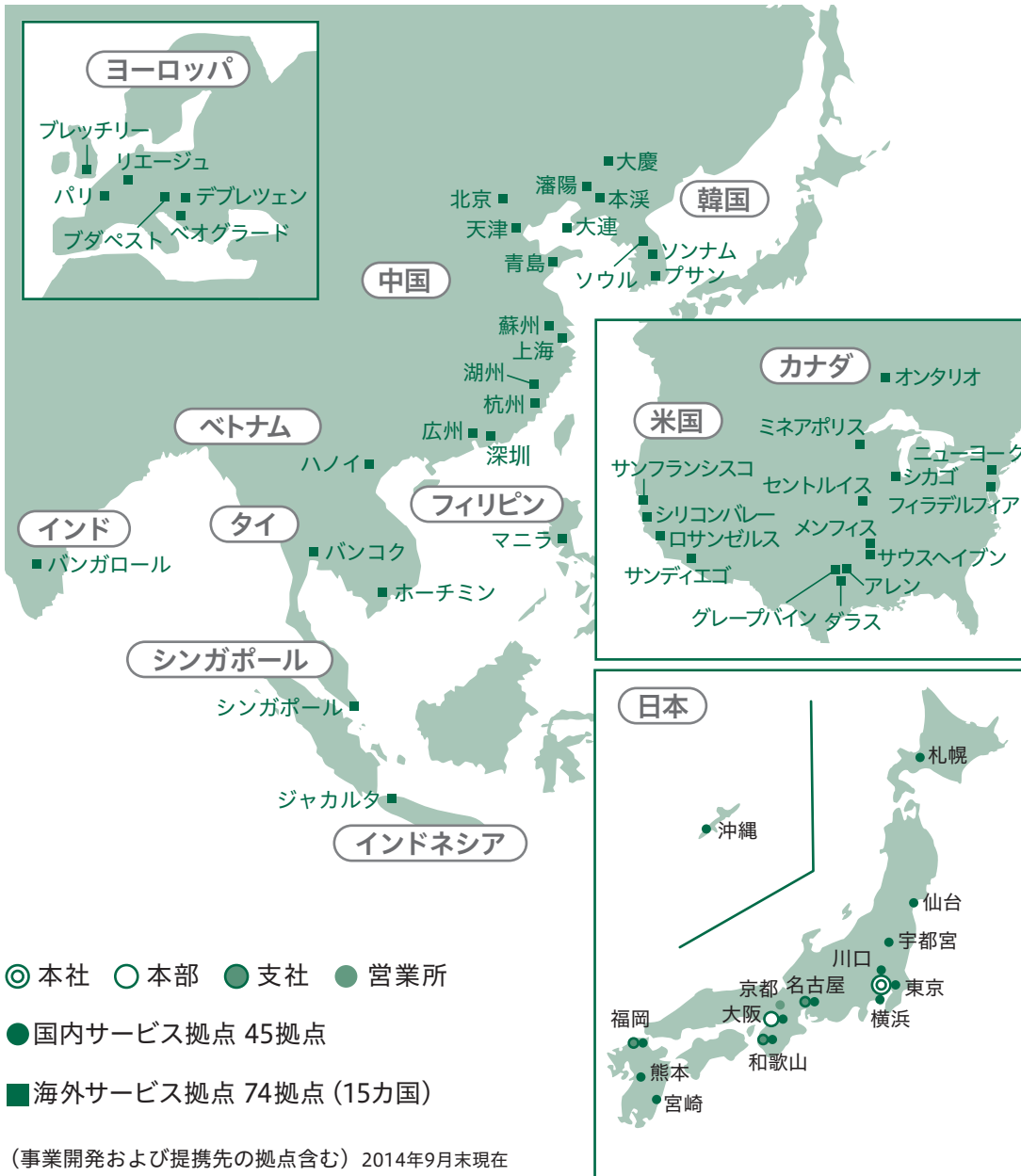
引き続き、株主・投資家の皆様には、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2014年12月
代表取締役社長兼COO

奥田昌孝

国内・海外拠点

世界16カ国119拠点で展開



事業紹介

ビジネスプロセス アウトソーシングサービス

経理・財務や人事などのバックオフィス業務、受発注業務、情報システム運用保守業務、機械・建築設計といった設計業務など企業のノンコア業務を支援するアウトソーシングサービスを提供。

当社の特長

- 日本国内における最大規模のオフショアサービス体制を確立 (中国・タイ・ベトナム、16拠点・3,350名)
- システム開発/運用・オーダープロセッシング・建築設計・機械設計・組込開発・データ入力・人事/総務/経理/バックオフィスと幅広い領域においてサービスを提供
- 業界に先駆けて1995年に中国でのオフショア開発体制を確立
- 豊富な実績 (創業48年、ヘルプデスク⁴ 業界トップクラス)



用語解説

- ⁴ ヘルプデスク→パソコンやソフトウェアの使用法やトラブルに関する問い合わせに対応する企業内の業務のことを指す。社外に委託する場合も多い
- ⁵ アドテクノロジー→テクノロジーを駆使した広告のことで、主にインターネット技術を活用した広告領域全般のことを指す

導入事例

デジタルマーケティングサービス



インターネットインフラを活用したマーケティング活動を支援。
インターネットプロモーション、Webサイト構築・運用、
EC通販事業支援、分析・リサーチサービスなどを提供。

当社の特長

- 日本・中国・韓国を中心としたデジタルマーケティングサービスプロバイダー
- インターネットプロモーションからWebサイト構築・運用まで全てをワンストップで支援する体制を確立
- 国内最大規模のWebサイト構築・運用体制を確立 (国内2,000名)
- サンフランシスコに事業開発拠点を構え、最新のアドテクノロジー^⑤を積極的に導入

コンタクトセンターサービス

顧客からの問い合わせや苦情対応、商品・サービスの案内や営業セールス支援など、顧客サポート業務のアウトソーシングサービスを提供。

当社の特長

- 日本・中国・韓国を中心としたアジア最大規模のコンタクトセンターサービスプロバイダー
- 国内22拠点・13,570席、海外20拠点・6,060席の国内最大規模のコンタクトセンターサービスを提供
- 金融・テレコム・ハイテク・医薬・化粧品・流通・自動車・航空・公共など多分野での取引実績
- いち早くソーシャルメディアでの顧客サポートを専門的に行うソーシャルメディア渋谷センターを開設

※拠点数・席数・人数は全て2014年9月末現在

株式会社マクニカ様

毎月50,000件を超える半導体・電子デバイス製品の受発注関連業務に対応。
業務最適化と継続的改善によってマクニカ様の事業成長に貢献。



課題	商品やお取引先企業の増加に伴い、受発注に関する業務の工数が急増し、本来対応すべき業務に割り当てられる工数が不足していた	導入サービス	SCMサービス
成果	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎月50,000件を超える半導体・電子デバイス製品の受発注関連業務に対応 ② 業務プロセスの最適化で、3,000種の処理手順を半減 ③ 継続的な業務改善により、2倍の生産性と大幅な品質向上を実現 		

お客様からの声



株式会社マクニカ
オペレーション部
部長代理
今井 千城 様

ノウハウを活かした提案力と洗練されたスキルを持つビジネスパートナーとして今後も新たな提案に期待しています。

お取引先様それぞれに合わせた膨大なパターンの受発注に関する業務を円滑に立ち上げるためには、綿密な業務設計が重要であり多大なパワーが必要です。短い期間で業務構築を成功させることができたのは、弊社の要望をしっかりと受け止めていただいた上でトランスコスモスさんのノウハウを活かした提案力とスピード感があったからだと思います。



株式会社マクニカ
オペレーション部
ビジネスオペレーション課
課長代理
村田 裕子 様

特に、散在していた情報のマニュアル化ではお互いに対話しながらしっかりと整理していくことができましたし、サービス導入後も業務効率向上のためのツールをご提案いただくなど、ビジネスパートナーとして本当に感謝しています。

また、トランスコスモスさんのスタッフは長年従事していただいている方が多く、人を大事にしているという社風にとっても共感しています。

今後も、トランスコスモスさんの洗練されたスキルと標準化のノウハウを活かした新たなご提案をお願いしたいと考えています。

2014年度上半期の注目トピックス ～グローバル展開

ベトナム ハノイ 海外69拠点目となるオペレーションセンター設立 2014年7月より事業を開始

- ベトナム国内外の市場に対してコンタクトセンターおよびBPOサービスを提供
- BPOサービスは、自動車・航空機メーカーや建築・社会インフラ業界向けに設計・開発支援のオフショアサービスから開始



名称	transcosmos Vietnam co., ltd.
代表	General Director 香村洋平
所在地	ハノイ
設立	2014年3月
席数	200席
事業内容	コンタクトセンターサービス、BPOサービス、機械・建築・社会インフラ設計支援サービス
対応言語	日本語、ベトナム語



フィリピン マニラ 海外70拠点目となるオペレーションセンター設立 2014年9月より事業を開始

- フィリピン市場向けコンタクトセンター、BPOサービス、スマートフォンサイトやアプリの開発・運用サービスを提供
- グローバル市場に対して英語を主要言語としたコンタクトセンターサービスなどをオフショアで提供



名称	transcosmos Asia Philippines, Inc.
代表	代表取締役社長 山下秀毅
所在地	マニラ首都圏
設立	2013年12月
席数	144席
事業内容	コンタクトセンターサービス、BPOサービス、スマートフォンサイト・スマートフォンアプリ開発・運用サービス
対応言語	英語、フィリピン語、その他



2014年度上半期の注目トピックス ～最新アワード実績・市場シェアランキング

日本

2014年日本市場 コンタクトセンター アウトソーシングサービスプロバイダー最優秀賞を受賞

- フロスト&サリバン※1主催の2014年ジャパンエクセレンスアワードのICT部門で受賞
- 先進性、優位性、革新性、戦略的な製品開発などにおける高いパフォーマンスや優れたサービスの創出などが評価



アジア

世界の地域別BPOプレイヤー アジア/太平洋および日本で売上高第1位を獲得

- Gartner※2が発刊したBPO市場に関するレポート「Market Share Analysis: Business Process Outsourcing, Worldwide, 2013」 Cathy Tornbohm, Dean Blackmore, 25 April 2014」で獲得
- 3年連続で1位を獲得



Gartner
"Market Share Analysis: Business Process Outsourcing, Worldwide, 2013"
Cathy Tornbohm, Dean Blackmore, 25 April 2014

世界の地域別
BPOプレイヤー **第1位**
アジア/太平洋および日本 (2013年売上高)

グローバル

2014年グローバルアウトソーシング100 世界第13位に選出

- IAOP※3主催の世界一のアウトソーシングサービスプロバイダーを選出する賞に選出
- 「売上拡大」「コスト削減」「グローバル」などのお客様企業ニーズを実現するサービス開発・提供実績が評価



※1 フロスト&サリバンは1,800名のアナリストを擁し、300業界以上、250,000社を超える企業に向けたリサーチ・コンサルティング実績をもつ、創業50周年のグローバルリサーチ・コンサルティング機関です。

※2 1979年に創設されたガートナーは、米国コネチカット州スタンフォードに本拠を置く業界最大規模のITアドバイザー企業です。詳細は<http://www.gartner.co.jp/about/index.html>を参照。
ここに述べられたガートナーのレポート(以下「ガートナーのレポート」)は、ガートナーの配信購読サービスの一部として顧客向けに発行されたデータ、リサーチ・オピニオンもしくは視点を表したものであり、事実を表現したものではありません。
ガートナーの各レポートは、レポート発行時点における見解であり、この目論見書発行時点のものではありません。またガートナーのレポートで述べられた意見は、事前の予告なしに変更されることがあります。

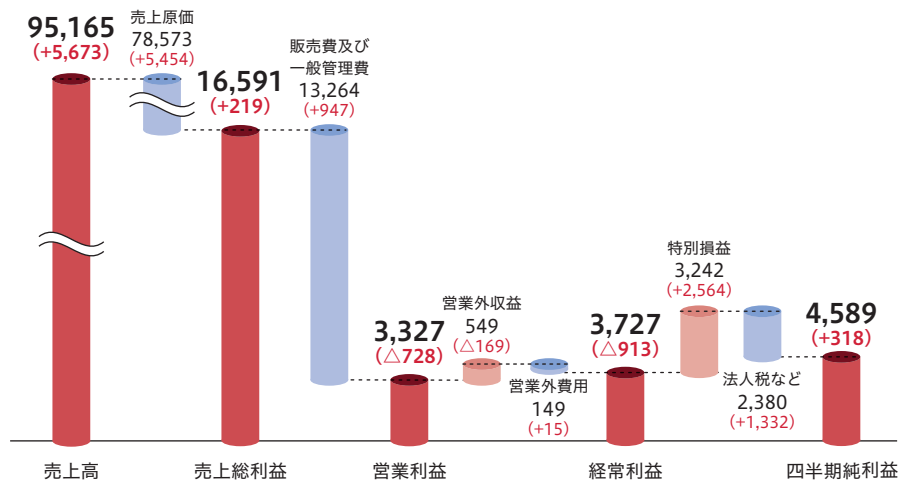
※3 IAOP®(国際アウトソーシング専門家協会)は、アウトソーシング業界の標準を定め、振興を目的とした国際組織です。

連結財務情報

連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

当第2四半期連結累計期間(2014年4月1日から2014年9月30日まで)



※グラフを見やすくするため、数値と高さは比例していません。

※()内数字は前年同期比増減

売上高

コンタクトセンターサービス、ビジネスプロセスアウトソーシングサービス、デジタルマーケティングサービスなど主力事業である単体サービスをはじめ、BtoB国内子会社、BtoB海外子会社などの受注が好調に推移し、売上高は前年同期比6.3%の増収となりました。

営業利益

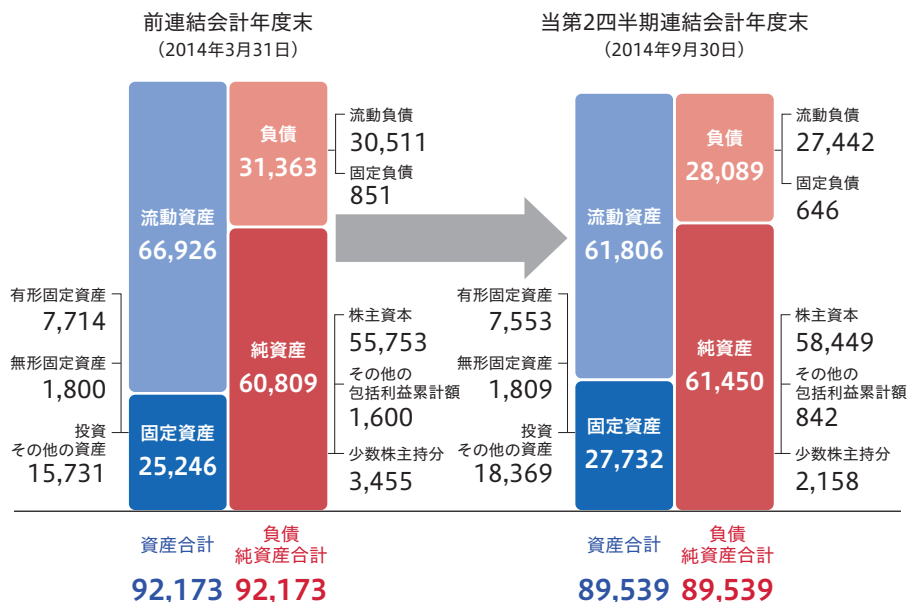
単体サービスを中心に新規受注業務の立ち上げ、将来の成長に向けた先行投資の影響により、売上原価が増加しました。また人員・組織体制の強化に伴う販売費及び一般管理費が増加しました。これにより、営業利益は前年同期比18.0%の減益となりました。

四半期純利益

先行投資の影響で営業利益・経常利益は減益となりましたが、一部連結子会社の売却益や中国関連会社の新規上場に伴う持分変動利益などを特別利益として計上したことにより、四半期純利益は7.4%の増益となりました。

連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



総資産

総資産は、前連結会計年度末に比べて2,633百万円減少しました。このうち流動資産は、受取手形及び売掛金の減少などにより5,119百万円減少しました。固定資産は、関係会社株式および投資有価証券の新規取得などにより2,486百万円増加しました。

負債

負債は、主に借入金の返済による減少や買掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べて3,274百万円減少しました。

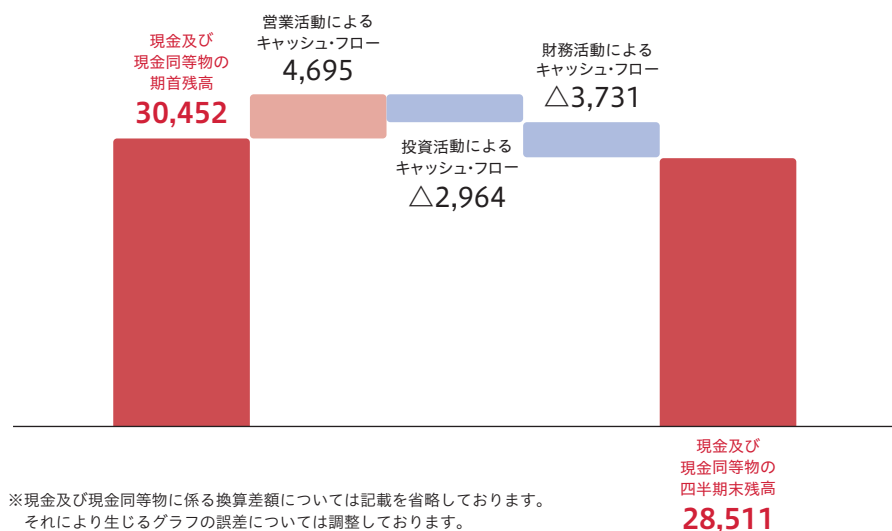
純資産

純資産は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて640百万円増加しました。これにより自己資本比率は、66.2%となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

当第2四半期連結累計期間(2014年4月1日から2014年9月30日まで)

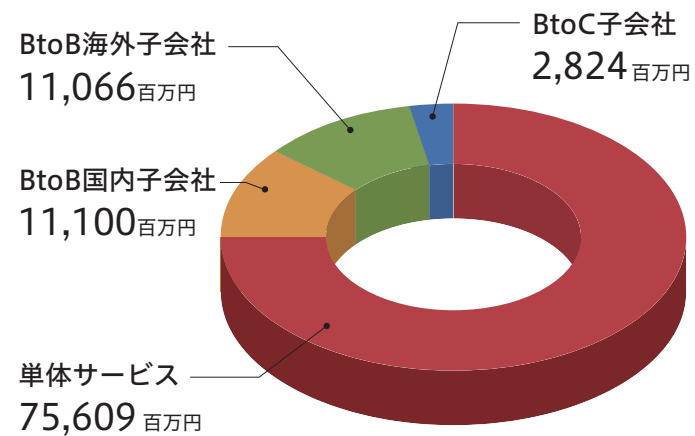


キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の増加などにより、前年同期と比べ930百万円収入が増加しました。投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出が増加したことにより、前年同期と比べ1,181百万円支出が増加しました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出が減少したことにより、前年同期と比べ1,956百万円支出が減少しました。

セグメント別売上高

当第2四半期連結累計期間(2014年4月1日から2014年9月30日まで)



注)セグメント間取引消去等△5,435百万円は含まず

単体サービス

当社のコールセンターサービスなどを中心としたワンストップのアウトソーシングサービス事業

BtoB国内子会社

国内で法人向けビジネスを展開するグループ会社事業

BtoB海外子会社

海外で法人向けビジネスを展開するグループ会社事業

BtoC子会社

消費者向けインターネットメディアビジネスを展開するグループ会社事業

コーポレート・ガバナンスのご報告

当社は、コーポレートビジョンとして掲げる「お客様の満足の大きさが我々の存在価値の大きさであり、ひとりひとりの成長がその大きさと未来を創る。」を具現化するため、コーポレート・ガバナンスの充実を経営の最重要課題のひとつと認識し、株主の皆様やお客様をはじめ、取引先、地域社会、従業員等の各ステークホルダーと良好な関係を築き、お客様に満足していただけるサービスの提供、経営責任と説明責任の明確化、透明性の高い経営体制の確立および監視・監督機能の充実に努め、企業価値の最大化を目指しております。

社外取締役からのコメント



社外取締役
夏野 剛

2000年前後から続くIT革命は社会、経済、経営、国民生活に大きな環境変化をもたらしました。すでに10年以上が経過した今、ITは企業の業務の隅々まで普及し、20世紀とは市場環境がまったく異なっています。すでに多くの企業がITを業務に組み込み大幅な効率改善を実現しているわけですが、急速な技術の進化はむしろ加速し、企業が対応すべきことはむしろ増えているのが現実です。そういった中、クライアント企業様のIT力強化支援を生業とするトランスコスモスの社会的役割はますます大きくなっていくと思います。

そして、クライアント企業様のクリティカルな情報や業務に関わるトランスコスモスに求められるコンプライアンスのレベルはますます高くなっています。多数の上場会社の取締役を務めている私の視点から見てもトランスコスモスのコーポレート・ガバナンスは完全に機能しており、大変心強く感じますが、決して緩みのないよう引き続き完全に運用してほしいと思います。

トランスコスモスは社外取締役比率も高く、取締役会では非常に活発な議論がされていますが、より一層価値のある議論を通じてトランスコスモスの発展に寄与できるよう、私自身も自らのIT業界の経験と上場企業の取締役経験を活かして、積極的に関わっていきたいと考えています。

CSR活動のご報告

障がい者スポーツへの支援

フットメッセ名取（宮城県）で開催された「ブラインドサッカー 東北・北信越リーグ2014」において、出場者に配布されたノベルティのデザインを当社の障がい者の社員が担当しました。当社は、多くの障がい者が在籍する企業のひとつとして、障がい者のさまざまな社会活動を支援しています。



当社社員が制作に協力したノベルティ

第12回東京アビリンピック銀賞・銅賞受賞

第12回東京アビリンピック（東京障害者技能競技大会）のDTP競技、パソコンデータ入力競技に出場した当社および当社特例子会社のトランスコスモス・アシスト※の社員が、銀賞・銅賞を受賞しました。



第12回東京アビリンピック出場者



受賞メダル

※トランスコスモス・アシストは、2005年4月にトランスコスモスの特例子会社として、障がい者の雇用促進を目的として設立されました。自閉症・発達障がい者を含めた知的障がい者を積極的に雇用し、障がい者がその持てる力を十分に発揮できる適切な就労の場を創造、積極的な社会参加を支援するとともに、社員の可能性を大切に育てる環境づくり（共働）に取り組んでいます。

会社概要 (2014年9月30日現在)

会社名	トランスコスモス株式会社
(商号)	(トランス・コスモス株式会社) (transcosmos inc.)
設立年月日	1985年6月18日 (登記上 1978年11月30日)
資本金	290億6,596万円
従業員数	単体:8,498名 グループ:15,414名
主要取引銀行	三井住友銀行 三菱東京UFJ銀行 みずほ銀行
本社	東京都渋谷区渋谷3-25-18 〒150-8530 TEL.03-4363-1111 (大代表) FAX.03-4363-0111
大阪本部	大阪府大阪市北区梅田3-3-20 明治安田生命大阪梅田ビル 〒530-0001 TEL.06-6457-1600 (代表) FAX.06-6457-1601

株式の状況 (2014年9月30日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	48,794,046株
株主数	17,256名

大株主の状況 (2014年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
奥田 耕己	7,498	15.37
奥田 昌孝	5,910	12.11
公益財団法人奥田育英会	1,753	3.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,503	3.08
平井 美穂子	1,463	3.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,451	2.97
有限会社HM興産	722	1.48
THE BANK OF NEW YORK - JASDECTREATY ACCOUNT	629	1.29
トランス・コスモス社員持株会	614	1.26
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	593	1.22

注) 1. 上記のほか、当社が自己株式7,653千株を保有しています。
2. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
3. 持株比率は、小数点第三位を四捨五入により表示しています。

役員構成 (2014年11月10日現在)

代表取締役グループCEOファウンダー	奥田 耕己
代表取締役会長兼CEO	船津 康次
代表取締役社長兼COO	奥田 昌孝
取締役副社長	石見 浩一
専務取締役	向井 宏之 森山 雅勝 永倉 辰一
上席常務取締役	牟田 正明 高野 雅年 本田 仁志 白石 清
社外取締役	夏野 剛※ 瀧浪 壽太郎※ 吉田 望 宇陀 栄次※
常勤監査役	石岡 英明 下總 邦雄
監査役	中村 敏明※ 山根 節夫※
常務執行役員	貝塚 洋 山喜 和彦 中山 国慶 河野 洋一 緒方賢太郎 小野 敦史
執行役員	松原 健志 長谷川 勉 内村 弘幸 井上 博文 山下 栄二郎 谷川 弘樹 宮澤 範充 森田 祐行

※独立役員として東京証券取引所に届出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 (中間配当 毎年9月30日) その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 http://www.trans-cosmos.co.jp

※ただし、電子公告による公告をすることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

●ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記電話照会先にお問い合わせください。なお、三井住友信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
- 支払開始日から満3年未満の未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



トランスコスモス株式会社

東京都渋谷区渋谷三丁目25番18号 〒150-8530 TEL.03-4363-1111 (大代表) FAX.03-4363-0111
<http://www.trans-cosmos.co.jp>

トランスコスモス通信は、ノーマライゼーション推進部(当社の障がい者雇用部門)がデザイン・制作をしています。

